

かほく

# ワークシート

エジプトのサハラ砂漠で見つかった草食恐竜「マンスーラサウルス」の想像図  
(カーネギー自然史博物館提供)



## エジプト、待望の恐竜化石 白亜紀後期 サハラ砂漠で発見

エジプトのサハラ砂漠で約8000万年前の恐竜の化石が見つかった。恐竜絶滅に近い白亜紀後期に当たるが、アフリカでは化石がほとんど見つかっておらず待望の発見だ。

下顎や首、肋骨、前脚などの化石が見つかり、調査した大学名から「マンスーラサウルス」と名付けた。首が長く4本足で歩

く草食恐竜で、ティタノサウルス類とみられる。この仲間には地球史上最大の陸上生物とされる全長40mの種もいたが、マンスーラサウルスは全長8～10mだった。

化石の特徴は欧州やアジアの種と似ていた。一つの巨大大陸から南米が分離した後も、アフリカと欧州の間では陸上生物が移動できた可能性がある。

### 問題

- ①どこの国の何という砂漠で、恐竜の化石が見つかりましたか。

国名 ( )  
( ) 砂漠

- ②見つかった恐竜には、何という名前が付けられましたか。

( )

(小学校／朝学習、中学校／理科第二分野  
＝示準化石、大地の変化)